

■ 『日光・足尾エクスカージョン』のご案内 ■

2013
11/17
Sun

鉾都足尾から日光を巡る近代土木遺産の旅

～電力が牽引した暮らしと技術の近代化の足跡を訪ねる～

【土木遺産とは…】ダムや橋梁など歴史的に価値のある建造物のこと。今回のエクスカージョンでは明治から昭和初期、戦後30年代までの土木遺産が中心。

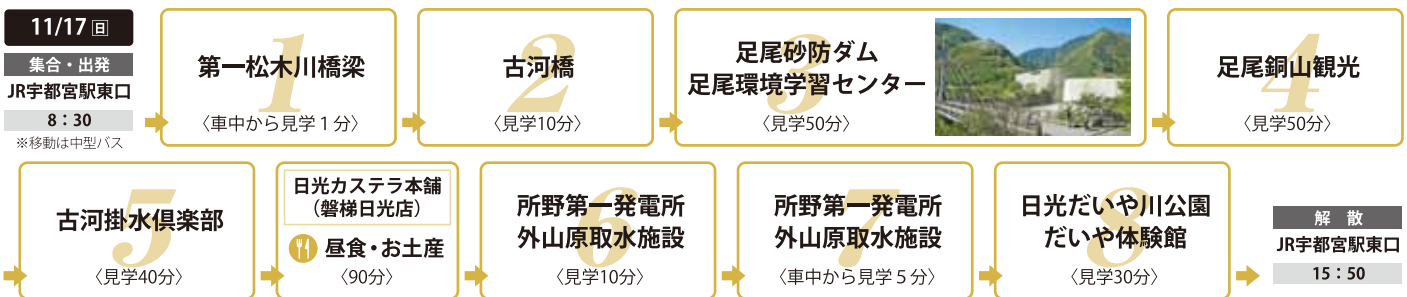


わが国の電気の歴史は、1878（明治11）年3月25日の東京・電信中央局開局祝賀会場で点灯されたフランス製の電池式アーク灯に始まります。電灯の実用化は、1886（明治19）年に開業した東京電灯会社（現在の東京電力㈱の前身）はじめ各地に勃興した電力会社により進められ、やがて電産業とともに電力供給事業として、わが国の産業の近代化とそれに伴う躍進に大きな役割を果たしました。

ご好評につき定員に達しましたので、募集を終了いたしました。

今回のエクスカージョンでは、電力による生産工程の技術革新により総産銅量日本一を誇った足尾銅山施設、運輸を支えた交通インフラ近代化の金字塔として歴史の橋梁の古河橋（2013年10月18日国の重要文化財に答申）や第一松木川橋梁、また、足尾銅山隆盛の華やきを今に伝える古河掛水倶楽部などを訪ねます。さらに、わが国の現存現役最古の水力発電施設である所野第一発電所外山原取水施設（本年度の土木学会選奨土木遺産に認定）など、鉾都足尾から日光を巡りながら、私たちの暮らしと産業技術の近代化を支え牽引してきた電力に関わる土木事業の歴史とその精華として現存する近代土木遺産を訪ね、これからの暮らしと技術、また、文化記念碑としての土木遺産の継承について考えてみたいと思います。

■ 日光・足尾エクスカージョンスケジュール ■



■ 申し込み・問合せ先 ■

土木学会関東支部栃木会 事務局 〈(公財)とちぎ建設技術センター内〉 TEL.028-626-3114

- 参加資格：どなたでも参加できます。幼児・児童は保護者、身体の不自由な方は、介添人の同伴が必要です。（※ペットを連れての参加はご遠慮ください）
- 参加費：18歳以上 2,000円・18歳未満 1,000円（昼食代、交通費、入場料等を含む） ■お申込みメチ：平成25年11月13日(水)
- 定員：45名（※定員になりしだい、募集を終了します）

〈主催〉土木学会関東支部栃木会